



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月3日

上場会社名 株式会社スズケン

上場取引所 東名札

コード番号 9987 URL <https://www.suzuken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮田 浩美

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理部長 (氏名) 野原 正伸

TEL 052- 961- 2331

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,607,138	4.7	6,240	73.0	12,717	57.7	6,106	69.9
2020年3月期第3四半期	1,686,640	5.1	23,147	23.6	30,093	17.7	20,307	16.2

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 7,932百万円 (69.8%) 2020年3月期第3四半期 26,290百万円 (46.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	68.47	
2020年3月期第3四半期	222.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,222,465	413,969	33.8
2020年3月期	1,112,507	412,708	37.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 413,019百万円 2020年3月期 411,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		32.00		40.00	72.00
2021年3月期		36.00			
2021年3月期(予想)				36.00	72.00

(注)1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当36円00銭 記念配当4円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,122,000	4.1	4,000	87.7	12,300	70.3	4,000	85.8	44.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2021年2月3日)公表いたしました「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	103,344,083 株	2020年3月期	103,344,083 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	14,140,243 株	2020年3月期	14,169,231 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	89,192,033 株	2020年3月期3Q	91,233,294 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社および当社関係者は2020年12月9日、独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）の入札に関する独占禁止法違反容疑について、公正取引委員会から刑事告発を受け、同日、東京地方検察庁により起訴されました。

このような事態に至りましたことは誠に遺憾であり、株主をはじめとするステークホルダーの皆様には、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。今回の刑事告発に至る一連の事態を厳粛に受け止め、役員・従業員一同さらなるコンプライアンス遵守の徹底に取り組んでまいります。

なお、既実施しております再発防止策等の詳細については、2020年12月9日適時開示「再発防止に向けたコンプライアンス遵守徹底の取り組みおよび取締役および執行役員報酬の減額に関するお知らせ」をご覧ください。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、世界的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が依然として衰えを見せず、各国の社会・経済に甚大な影響を与えました。日本国内における感染者数は一時落ち着きを見せ、段階的な経済活動の再開が進められていたものの、昨年末から全国各地で感染者数が急増するなど、依然として感染拡大の終息が見通せない情勢から、景気の先行きについては予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおける新型コロナウイルス感染症対応については、お得意さまや当社グループ社員の健康に配慮したうえで、緊急事態宣言の拡大状況や感染者数の推移などを注視しつつ、感染予防対策に万全を期し、引き続き医薬品等の安定供給に取り組み、企業の社会的責任を果たしてまいります。

そのようななか、当社グループは、2023年3月期を最終年度とする3カ年の中期成長戦略「May I “health” you? 5.0」を策定し、健康創造領域で社会に貢献する企業として、より一層、既存事業を進化させていくと同時に、日本が目指す新たなデジタル社会である「Society 5.0」において、社会の課題を解決できる新たな事業展開を目指し、更なる企業価値向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、希少疾病薬や再生医療等製品を含むスペシャリティ医薬品の流通モデル構築、およびMS（※1）の活動による新たな収益モデル構築に向け、多様な企業との協業を進め、「取引」から「取組」によるフィー獲得モデルへの転換を進めております。

具体的には、医療流通プラットフォームの構築に向けて、スペシャリティ医薬品トレーサビリティシステムである「キュービックス」を全国の地域中核病院などへ導入し、医薬品の流通品質向上に取り組んでおります。加えて、再生医療等製品の流通において、当社グループの持つ機能や医療流通プラットフォームを評価いただき、ノバルティスファーマ㈱の脊髄性筋萎縮症（SMA）に対する遺伝子治療用製品「ゾルゲンスマ®点滴静注」（※2）の日本国内における流通を受託いたしました。

また、新たに医療情報プラットフォームの構築に向け、2020年4月にUbie ㈱と資本業務提携を行うとともに、Ubie ㈱が開発した新型コロナウイルス感染症に対応した医療機関向け問診サービス「AI 問診Ubie」（※3）の共同展開を実施しております。5月にはサスメド㈱と資本業務提携を行い、データ改ざんやなりすまし防止といったブロックチェーン技術やAI自動分析システムなど同社のデジタル医療基盤を活用し、スズケングループが展開する治験薬物流やキュービックスCT（治験版キュービックス）の相互連携による新たな治験関連ビジネスの開発・展開を推進しております。加えて11月には、現場の医療者目線で「医療DXプラットフォーム」の構築および推進を行うドクターズ㈱と資本業務提携を行っております。

今後、既に提携している企業とともに、コラボレーションによるDX事業構築を更に加速させ、革新的なサービスや情報ビジネスを推進し、製薬企業や医療機関、保険薬局、患者さまへの新たな価値の提供を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診抑制の影響により売上高伸長が抑制されたこと、コロナ禍におけるお得意さまの経営状況が厳しさを増すなか、医薬品卸売事業においてお得意さまからの価格引下げ要求が厳しさを増したことで、更には、卸間の競争が激化したことなどにより、売上高は1兆6,071億38百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は62億40百万円（前年同期比73.0%減）、経常利益は127億17百万円（前年同期比57.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61億6百万円（前年同期比69.9%減）となりました。

※1 MS（Marketing Specialist）

：医薬品卸売業の営業担当者のこと。

医療機関・保険薬局等を訪問し、医薬品の紹介、商談、情報の提供や収集を行います。

※2 「ゾルゲンスマ®点滴静注」

：ゾルゲンスマは、脊髄性筋萎縮症（SMA）の原因遺伝子であるヒト運動神経細胞生存（Survival Motor Neuron: SMN）タンパク質をコードする遺伝子を組み込んだ、野生型アデノ随伴ウイルス9型（AAV9）を利用した遺伝子治療用ベクター製品です。2020年3月19日に、「SMA（臨床所見は発現していないが、遺伝子検査によりSMAの発症が予測されるものも含む）ただし、抗AAV9抗体が陰性の患者に限る」を適応として、厚生労働省より製造販売承認を取得しています。

※3 「AI 問診Ubie」

：従来の医療機関が使用してきた紙の問診票のかわりにタブレットを活用した医療機関向け問診サービスです。約5万件の医学論文から抽出されたデータに基づき、約3,500種類の質問データからAIが最適な項目を抽出し、タブレットで20個前後の質問を表示します。1,000近い病名から関連性のある複数の病名を病名辞典より表示します。患者さまの入力データは即時に電子カルテに送信され、電子カルテに記載を行う事務作業が大幅に削減されることから業務の効率化や医師の働き方改革にも繋がり、より患者さまに向き合い、診療に集中できるようになります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円未満切捨て)

セグメントの名称		2020年3月期 第3四半期連結累計期間	2021年3月期 第3四半期連結累計期間	増減率(%)
医薬品卸売事業	売上高	1,621,725	1,542,104	△4.9
	営業利益	19,355	2,167	△88.8
医薬品製造事業	売上高	34,467	33,374	△3.2
	営業利益	1,634	1,749	7.0
保険薬局事業	売上高	72,551	67,556	△6.9
	営業利益	987	628	△36.3
医療関連サービス等事業	売上高	74,806	106,051	41.8
	営業利益	1,131	1,728	52.7

(注) セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります。

(医薬品卸売事業)

医療用医薬品市場は、抗悪性腫瘍剤の市場拡大やスペシャリティ医薬品等の新薬が寄与したものの、薬価改定および後発医薬品使用促進、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診抑制の影響などによりマイナス成長であったものと推測しております。

そのようななか、売上高は、スペシャリティ医薬品をはじめとする新薬の販売増加があったものの、市場縮小の影響などにより減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、減収の影響およびコロナ禍におけるお得意さまの経営状況が厳しさを増すなか、お得意さまからの価格引下げ要求が厳しさを増したこと、さらに、卸間の競争が激化したことなどにより大幅な減益となりました。

これらの結果、売上高は1兆5,421億4百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益は21億67百万円(前年同期比88.8%減)となりました。

なお、販売価格の未決定先については、お得意さまがご要望されている価格などを踏まえ見積計上しております。今後、価格決定に向けての厳しい価格交渉が予想されますが、当社提示価格で妥結できるよう粘り強く価格交渉するとともに、引続き適正利益の確保に向けた活動を徹底してまいります。

(医薬品製造事業)

売上高は、2型糖尿病治療剤「メトアナ配合錠」の早期売上最大化に向け取組むとともに、DPP-4阻害剤「スイニー錠」や高尿酸血症・痛風治療剤「ウリアデック錠」などを中心にWebを活用した販売促進に努めたものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診抑制の影響、および糖尿病食後過血糖改善剤「セイブル錠」の特許切れに伴う後発医薬品の影響などにより減収となりました。

営業利益は、減収の影響があったものの、販売費及び一般管理費の抑制などにより増益となりました。

これらの結果、売上高は333億74百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は17億49百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

なお、2020年8月25日、開発コードSK-1403について、血液透析下における二次性副甲状腺機能亢進症の治療薬として、厚生労働省に製造販売承認申請いたしました。

(保険薬局事業)

売上高は、調剤報酬改定や薬価改定の影響および新型コロナウイルス感染症拡大に伴う受診抑制による処方箋受付枚数の減少などにより減収となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の抑制に努めたものの、減収の影響などにより大幅な減益となりました。

これらの結果、売上高は675億56百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は6億28百万円(前年同期比36.3%減)となりました。

(医療関連サービス等事業)

売上高は、主に、メーカー支援サービス事業(医薬品メーカー物流受託・希少疾病薬流通受託)の受託が増加したことなどにより増収となりました。

営業利益は、メーカー支援サービス事業における増収効果や介護事業の利用者増加などにより増益となりました。

これらの結果、売上高は1,060億51百万円(前年同期比41.8%増)、営業利益は17億28百万円(前年同期比52.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,099億57百万円増加し1兆2,224億65百万円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,090億63百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が475億19百万円、受取手形及び売掛金が313億85百万円および有価証券が146億92百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ8億94百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が17億53百万円、無形固定資産が13億69百万円減少したものの、投資その他の資産が40億17百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,086億96百万円増加し8,084億95百万円となりました。これは主に、未払法人税等が73億42百万円、賞与引当金が47億3百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が1,185億94百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億61百万円増加し4,139億69百万円となりました。これは主に、剰余金の配当の支払が67億78百万円あったものの、その他有価証券評価差額金の増加が16億93百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益を61億6百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第3四半期連結会計期間において独占禁止法関連損失を特別損失に計上したことにより、2020年11月5日に公表いたしました2021年3月期の通期業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日(2021年2月3日)公表いたしました「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	167,521	215,041
受取手形及び売掛金	486,991	518,376
有価証券	44,108	58,801
商品及び製品	134,166	146,023
仕掛品	2,298	2,033
原材料及び貯蔵品	3,262	4,180
その他	25,087	27,726
貸倒引当金	△1,228	△911
流動資産合計	862,208	971,272
固定資産		
有形固定資産	116,940	115,186
無形固定資産		
のれん	421	337
その他	10,659	9,375
無形固定資産合計	11,081	9,712
投資その他の資産		
投資有価証券	89,014	92,900
その他	34,194	34,286
貸倒引当金	△932	△892
投資その他の資産合計	122,276	126,294
固定資産合計	250,298	251,192
資産合計	1,112,507	1,222,465

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644,161	762,756
未払法人税等	8,517	1,175
返品調整引当金	487	403
賞与引当金	7,756	3,052
その他	13,201	15,321
流動負債合計	674,124	782,708
固定負債		
役員退職慰労引当金	246	238
退職給付に係る負債	3,165	3,078
その他	22,262	22,468
固定負債合計	25,674	25,786
負債合計	699,798	808,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,546	13,546
資本剰余金	39,131	39,122
利益剰余金	386,233	385,562
自己株式	△57,315	△57,197
株主資本合計	381,596	381,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,744	37,438
土地再評価差額金	△5,821	△5,821
為替換算調整勘定	0	△44
退職給付に係る調整累計額	318	413
その他の包括利益累計額合計	30,242	31,985
非支配株主持分	869	950
純資産合計	412,708	413,969
負債純資産合計	1,112,507	1,222,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	1,686,640	1,607,138
売上原価	1,542,251	1,489,294
売上総利益	144,388	117,843
返品調整引当金戻入額	541	487
返品調整引当金繰入額	519	403
差引売上総利益	144,410	117,928
販売費及び一般管理費	121,263	111,687
営業利益	23,147	6,240
営業外収益		
受取利息	184	114
受取配当金	1,283	1,357
受入情報収入	4,416	4,194
その他	1,444	1,482
営業外収益合計	7,328	7,149
営業外費用		
支払利息	40	37
不動産賃貸費用	176	166
新型コロナウイルス感染対策費用	—	346
その他	164	121
営業外費用合計	382	672
経常利益	30,093	12,717
特別利益		
固定資産売却益	342	83
関係会社株式売却益	—	162
中途解約違約金	123	—
その他	2	62
特別利益合計	468	309
特別損失		
固定資産除売却損	283	132
独占禁止法関連損失	—	3,482
その他	26	104
特別損失合計	309	3,718
税金等調整前四半期純利益	30,253	9,307
法人税等	9,892	3,118
四半期純利益	20,360	6,189
非支配株主に帰属する四半期純利益	53	82
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,307	6,106

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	20,360	6,189
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,112	1,693
為替換算調整勘定	△5	△11
退職給付に係る調整額	67	94
持分法適用会社に対する持分相当額	△244	△33
その他の包括利益合計	5,930	1,743
四半期包括利益	26,290	7,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,238	7,849
非支配株主に係る四半期包括利益	52	82

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,580,466	10,804	72,537	22,831	1,686,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,258	23,662	14	51,974	116,910
計	1,621,725	34,467	72,551	74,806	1,803,550
セグメント利益	19,355	1,634	987	1,131	23,108

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	23,108
セグメント間取引消去	39
四半期連結損益計算書の営業利益	23,147

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品 卸売事業	医薬品 製造事業	保険薬局 事業	医療関連 サービス等 事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,503,020	10,304	67,528	26,286	1,607,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,084	23,069	28	79,765	141,947
計	1,542,104	33,374	67,556	106,051	1,749,086
セグメント利益	2,167	1,749	628	1,728	6,273

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,273
セグメント間取引消去	△32
四半期連結損益計算書の営業利益	6,240

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。